

みずいろ105号ノークット版 No.1

笑顔さがしアンケートまとめ①

Q. 今年度のPTA活動・運営で変更・改革されたことがありますか？

「ある」130

「ない」163

「無回答」7

今年度は猛暑や台風の影響を受けたことも特徴的でしたが、事業の内容や運営方法を見直されたPTAが多かったようです。「運動会の個人テントの廃止（区民のテントに入り、地域連携をめざすため）」のように、「PTAで決めていくこと」に意味があるなぁと思う回答もありました。「連絡にLINEを活用（紙がわずらわしい）」のように、運営方法の工夫はもちろん、会議の回数の見直しなど効率よくできることがポイント。現状に合わせた役員・委員の人数・配置・免除・選び方は、「みんなが納得“のための必須なのかも！？」。

★★★ すばらしき少数意見の世界 ★★★

縮小や廃止が多いなか、攻めの活動を選んでみました！

・父親による読み聞かせや行事ごとのボランティア。母親だけでなく父親にもPTA活動を知ってもらうため。

- ・本当に子どものためだけに活動する有志団体を立ち上げた。
- ・PTA組織のグローバル化。
- ・会長のTELホットライン。
- ・制服譲渡会でお古をリサイクル。
- ・防災学習事業をスタート。
- ・親に部活を体験させる。子どもの頑張りを理解し、コミュニケーションを深めるため。
- ・あいさつ運動で役員がぬいぐるみを持ちハイタッチ。

「ない」と回答された中にも、「年度の途中ゆえに今のところは見当たらない」旨の言葉を書いてくださった会長さんもありました。やってみて→わかること！がいっぱいありますよね。そして、今年は改革しなくても、うまく楽しく充実した活動やっていますう～！！ ってPTAさんもたくさんあると思います！

変更・改革の内容	理由
会議の回数を減らしメールで連絡を取り合った	皆本業や家庭の事で忙しくPTAの会議に時間を取ることが難しかったため
各事業で合同で行える事業は一緒に行うようにした	各家庭 共働きの世帯が多く参加しにくくなるため
副会長を2人から1人へ縮小。研修・文化・厚生部の3部から研修・厚生部の2部への縮小。そのため役員が13→10名。フェスティバル内容、人形劇→パネルシアター発表へ変更など。	PTA会員の減少のため
夏休みのプールの制限	暑さのため熱中症になるのを防ぐため
役員選挙人数の調整	地区の人数の大小で、役員選出の不公平があるため
運動会・愛校運動(清掃活動)・天文観測	熱中症の危険を考慮して延期・中止
来年度に向けて部の編成を見直し中	働く保護者の方も活動しやすくするため、人数・配置を考える必要を感じたため
役員の人数変更・規約改正	次年度より三年保育が始まるため
予算案、PTA会則改正(会費徴収方法、役員の人数変更、個人情報取扱規則)	見直し、合理化
PTA本部役員永久免除	本部役員に対して敬遠しがちなので、自分の出来るタイミングで兄弟分を1回に徹してもらうため
来年度の役員の人数の変更	来年度の役員候補者が少ないと予想され、負担を軽減するために変更

①事業部をなくした ②サマーフェスタをオータムフェスタに変更	①人数がすくなかったので ②暑い時期に行くよりも、涼しくなってからと思いました
運動会のPTA競技	保護者の負担軽減のため
6～7月の幾つかの行事(PTAサマーフェスティバルなど)を9月以降に変更	
協議員の選出方法や免除要件の変更	様々な変化に対応するため
1度PTA会長を務めた方は免除される	重複を避けるため
父親による読み聞かせや行事ごとのボランティア	母親だけでなく父親にも園行事や園児にふれあう機会をもつPTA活動や内容を知ってもら一つのきっかけになればと思っています
①行事の役割分担の仕組み ②資源回収の回収方法変更による収入大幅増 新たに学級委員を設けた	①園児減少による役員数減と仕事分担 ②園児への還元を目的に仕組みを変更 庶務の仕事の軽減のため
会則の改訂を推進中	現状に合わせた形に変更 ブロック行事廃止等
学年委員の変更、事業の見直し 環境奉仕作業の中止	誰でも参加できるPTAを目指して 猛暑のため
研修委員会の活動をバザーに変えた	PTA予算が確保できない中、収入になる活動にやむを得ず変更した
規約見直し(会長経験者の特別免除)	最終的に会長のなり手がいない状況が多いため
個人情報保護法に関し、取扱細則・プライバシーポリシーの制定 本主に子どものためだけに活動する有志団体を立ち上げた	PTAは子どものためとはいつつ、実際には子どものためのイベントはほとんどないため
大津市初の特認校の開始に合わせたPTA組織のグローバル化	通学区の変更(自由化)によるPTA(保護者)の住居が遠く(広域化)なったため
会則改正など、 毎年の環境整備	免除役員を減らす 個人情報での全Pへの同意書
①バザーの廃止 ②年号の平成表記を西暦表記に変更	①インターネット売買が増えて提供品の収集が困難な上、労力等の負担が大きい ②平成が終了し、西暦表記にすることで今後一律して使っていける
総会時 全先生のスライドを作って紹介した 個人情報に関して	総会の出席人数がいつも少ないため
日曜参観とPTA研修の同時開催	PTA研修の参加率低迷と日曜参観がなかったことから
議事録、要項の簡素化。過去PTAデータのオンライン共有。 役員選出方法見直し中(役員数減)	事務処理の負担軽減のため 会員数の減少 役員の負担軽減
全てにおいて簡素化、例年に習わない時が多い	役員はする前から負担に感じる 対応量を減少させないと今後もやりたがらない
PTA会費の集金や普段の活動の短縮	効率良く行うため
会則の変更(個人情報取扱法)	個人情報保護法の改正により本会も個人情報を扱う事業者になったため
私のTELホットライン	子ども・保護者の力になりたいから
生徒が部活動の全国大会等に出場した際の激励金について、見直しを行い規約を作った	PTAより激励金を拠出していたが規約などの根拠がなかったため
バザーのテントを出さなかった	天候不良のため
夏祭り・そうじを初めて行った この行事をしたことで、役員構成を変えようと思っています	去年発足したため 今年行事を楽しんだ
「各部の仕事」と固定せず、何かあれば役員全員で助けまかになっていく 大きな行事も部で役割をかけるのではなく、基本的に役員全員で協力して行う	人それぞれ色々な事情をかかえた中での役員活動であり 役員は皆平等と考えたから
①"彦"の記入(登録)推進 ②制服譲渡会	①"彦"が貴重な予算となるため ②制服が廃止されるにあたり、必要とされる次年度新入園児の保護者へお古をリサイクル
広報紙の発行回数の変更 会則の見直し(予定)	役員や会員の負担軽減のため

PTA活動内容の軽減・見直し	園児数の減少とさまざまな家庭環境(女性の働き方改革)の中でPTA活動が負担になってる部分があるため
会則変更(子ども1人に対して3年間で必ず1回役員をする事になった)	会則に書かれてないことが 保護者間で暗黙のルールとして存在していたため
ここ数年間 類似の会議・委員会を集約化し開催	児童数・保護者の減少に伴い、従来通りの組織運営の維持が難しい
園児減少に伴う規模の縮小	
役員数の減	園児数減少
PTA役員の免除を3年から2年に減らした	子どもの数減少に伴い、該当の保護者さんが減ってきたので
自治会役員(代表)が各クラス代表に変更	自治会の子どもの人数に偏りがあるため
連絡にLINEを活用	紙がわずらわしい
親も楽しめる活動、社会適応能力向上に向けた活動	社会に適応できない大人が増えたため
親子ふれあい活動を学年活動に変更	学校のP数が減少している中でP役員の負担軽減のため
親子活動の簡略化	保護者の負担が少なくなるように
***わからない	一年間の途中で改革等を見い出せません!!
①「評議員会」を省略 ②今年から「防災学習」事業をスタート	①「評議員会」は他委員会と参加メンバーが同じであるため省力化の意味で省略 ②近年の災害を思い、生徒たちと地域の一員であることを自他ともに認識してもらうために継続事業として実施
各学年事業の内容の変更(先生かた提案を→保護者から提案へ 事前に会議を開いて内容をつめた)	毎年同じようなものなので
PTA研修を子どもと楽しめる観劇にかえた	子どもとの会話を増やせると思ったから
学区内の小学校の学校長と会合を持った	小中学校の連携強化のため 園とも予定
出役事 削減	PTA役員の負担減
運動会の延期開催の決定を事前の早い段階で決定し通知した	保護者の方々の準備の都合を考慮して早めに決めた方がいいと判断
本部役員の見出し方法	各地域ブロックの不公平さを無くすため
動員の縮小	保護者(会員)の負担軽減
①はぎまつりチケット集計の手順②学級委員を学年委員に③月1本部会議の時間 19~21時を17~18時に④運動会・はぎまつりのお手伝い制をつくった	役員の負担を減らすためと全ての保護者が少しづつかわるしくみを作るため
役員選出方法の検討	世帯数の減少のため
メールなどを活用するようになりました	資料などのプリントを削減するため
変更改革ではないが 楽しく活動できるよう工夫	主体的な参加を促す
会議の精選(回数減らす)	負担が大きいと感じる人が多い
仕事の割り振り	担当によって仕事量に差があり、今後の役員の数が増えるので
(「ない」との回答)	行事の本番がこれからになります
PTA主催のお祭りを土日から平日に変更	先生が休日出勤しにくいから
全保護者に向け、PTA大会や講演など渉外活動に積極的に参加いただけるよう声かけを行っている	渉外活動の役目をおもちの保護者の中には残念ながら色々な理由をつけて故意に参加しない方がいるため
運動会での個人テント廃止	やはり 区民のテントに入り、地域連携をめざすため
部活体験活動の新規取り組み	親が子どもの部活を体験することで、子どもの頑張りや理解し、コミュニケーションを図る
選任方法(PTA役員)	小、中続くと重責だから
例年1年ごとの活動方針、目標だったが、数年にわたって継続することにした	複数年かけることで大きな目標を少しずつ取り組めるようにする
死角となる植栽の撤去	不審者対策、環境整備の軽減
次年度の役員選出の人数	各地区公平にするため
除草作業	先生方の除草剤散布に伴い減少したため

PTAの入会を書面で提出	
毎年同じことをできないので	
①先生との連絡方法にメールを加える。②LINEグループの活用で役員会を減らす。③親子イベント後の座談会の廃止④運動会の手伝いを役員ではなく、ボランティアにした。	PTA行事や会議は減らして保護者の負担を減らすという考え。やりたい人、できる人で活動するスタイルにシフトしたいため
愛校活動の運動場の草引きを業者に依頼	猛暑のため
クラス委員の選出方法を選挙から抽選に変更	不公平をなくすため
笑顔をテーマに活動中	笑顔でつながる子どもたち、親子であってほしいから
お祭りの参加方法、役員決め、個人情報	多数の方が来られるように参加料軽減。来年度より10名から6名のみノミネート
安全の観点からヘルメット着用の推奨	安全のため
交通費を一律からその都度に変更	活動してくれている役員さんの負担軽減
夏休み水泳の中止	猛暑の為
PTA広報紙の発行回数の変更。年3回⇒2回へ	生徒数が減り、予算も減少したため
PTA活動について通学路においてのアンケートを実施	PTAがどう思われているかを調査したかった。
保護者会費の値上げ	園児の減少と物価の高騰で予算時点で不足していたため
女性の副会長(母親代表)の撤廃	選挙の時ややこしい、不平等になる
会長、副会長を一年で交代する	少しでも家庭への負担を軽減する。
会員数減による委員、組織の縮小	
副会長を2名から1名に減らした。	輪番が字の為、少人数の地域への配慮
バザーがなくなる。一部行事の縮小	来年度こども園に向けての移行、園舎工事によるもの(来年度以降不明)
資源回収を年間3回開催	昨年度は、清掃作業2回、資源回収を5回していたが、会員数が15名で負担も大きいため
夏祭りの時の縮小	園児数減少のため
役員選出の方法	みんなで納得できるものでなかったため
子どもたちの黄帽	協議会からの支給がなくなったので、学校の振興会へお願いし了承(永年)
夏休みPTA企画の変更	毎年一緒の企画だったため
運動会での観覧席変更	安全と見やすさを考慮して
地区水泳の中止	子どもたちの事故等を保護者が見れないため
(「ない」との回答)	今後の活動によるため、現状無し
事業部の縮小、アルミ缶回収の休止	世帯数の減少
PTA役員会の会議の削減、活動の削減	役員となった保護者の負担軽減
各委員の人数配分について、次年度以降調整すること。	長年の慣例により設定されていた部分の見直しが必要と考えられたため
PTA組織の再編成	児童数の減少のため
運動会でのPTA種目を無しにした	熱中症対策
PTA会費の使い方、管理	学校任せだと不透明だったため
5役の選任方法	みんなにPTAを体験してもらう
PTA総会時の本部役員、運動会の役員、役割軽減	
選挙制度の運用	選ばれる方に納得感を持って活動してもらうため
ヘルマークの整理の方法の簡略化。役員の仕事の省略、簡素化をしていく予定	
①PTA総会時、PTAの意義を説明 ②あいさつ運動時役員がぬいぐるみ等を持ち、子どもたちの目線に立ち、ハイタッチやあいさつをする。	①保護者全体に協力をお願いすることが多いので、興味を持ってもらうため。活動に前向きになってもらうため。 ②いつも大人同士は挨拶はかわすけれど、子どもたちは素通りしていた。子どもとあいさつしたかったため。
運動会でお揃いのTシャツを着た。	自分たちが楽しむため。周りから本部とわかるため。
各部で割り当てられているあて職の数を一覧にまとめ可視化した。	児童減にともない負担を見直してほしいと声があがったから

保護者参加行事ではないサマーフェスタの広報の掲示	子どもたちがどんな活動をして、どんな表情で楽しんでいたかを保護者にも見て頂くため
PTA三役の選出について	選出に偏りがあったので、抽選に変更した。
役員選出方法の変更	役員の選出で男女の候補者比率に開きがあるため、来年度から候補者は代表者に変更。
PTA活動を受け身ではなく、提案し、先生方と意見交換すること。 TA役員からのメール配信をはじめ、学校とのつながりを少しでも近くで感じられたらと思っている。	PTA活動は、役員だけのものではなく、保護者の代表として、子どもたちに何かできることをしていることの発信。
PTA規約の改定。	個人情報保護法の改定に伴って
運動会の雨天順延を小学校の体育館をお借りしての開催。	保護者の方で月曜日順延の場合、見てもらえないため。
転園してきた方たちは、本部役員を一年免除にした。サークル活動を年2回から1回にまとめた。	園や生活に慣れてもらうのが先だから。
お楽しみ会事業の中のコーナー遊びを取りやめた。	コーナー遊びの時間を、子どもたちが制作する時間の延長と役員と子どもたちが一緒に楽しめるゲーム遊びの時間にした。
愛園活動	夏場、熱中症対策で時間短縮。
ベルマークの集計方法	委員の負担を減らすため、全員で集計することにした。
無理のない範囲での活動とするため、参加する会合など縮小。	仕事や家庭との両立
委員組織の改革、選出時期の変更、免除規程の制定	クラス委員⇒学年委員に変更。 4月の選出⇒前年度1月に変更。活動引き継ぎがスムーズに行われるよう変更。 免除規程は、今までなかたので新しく制定。
前年度役員による本部役員選出についてのルールが示され、4月総会にて承認された	
役員選出方法の検討	世帯数の減少のため